

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110004	X-01/31-A-1-110004			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× 基礎 基礎 基礎 基礎 基礎	× 選択 選択 選択 選択 選択	× 1年 1年 1年 1年 1年
授業科目	担当教員	2	前期				
社会学	小宮山 智志						

授業目的

社会学とは何か、さまざまな考え方があります。ここでは新潟“国際”“情報”大学のための講義であることを意識し、人間関係に着目した社会学について考えていくたいと思います。アニメーションや漫画、映画・小説など身近な事象を扱います（皆さんの関心や理解に応じて、各回の内容・回数は変更する場合があります）。特に後半は、皆さん自身で事例を考えていただきます。これにより抽象的なコンセプトを具体的に捉える能力を養います。これはいかなる学問においても重要であるばかりでなく、異質な価値観の他者とのコミュニケーションにおいても役立ちます。学問を超える限界を設けることなく、関係性について考えていきましょう（毎時間、グループワークまたは個人ワークを行い、授業内にレポートを執筆します。さらに最終レポートを個人で授業時間外に書き上げます）。

各回の授業内容

第1回	【授】 チケントミハイの『楽しみの社会学』と見田宗介の『社会学入門一人間と社会の未来』の序章「越境する地(人間の学・関係の学)」を参考に人間の“関係”について考察します。『風の谷のナウシカ』(スタジオジブリ)を題材とします。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】見田宗介の『社会学入門一人間と社会の未来』の序章を読んでください。インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。	第9回	【授】 「なぜ人はささいなことで傷つくのか」実験編 違背実験を通して私たちの“場”的解明に迫ります。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】今までの文献・資料を復習してください。インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。
第2回	【授】 『風の谷のナウシカ』(スタジオジブリ)で解き明かす“社会的ジレンマ” ゲーム 説明編 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】スタジオジブリの映画『風の谷のナウシカ』を見てください。授業で紹介するゲームにおける自分の“戦略”を考えてください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。	第10回	【授】 「なぜ人はささいなことで傷つくのか」編のまとめと最終レポートについてのグループワーク(1): 最終レポートについて、グループワークで確認・検討します。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答してください。最終レポートで自分はどんなテーマを扱うか、考えてください。
第3回	【授】 『風の谷のナウシカ』(スタジオジブリ)で解き明かす“社会的ジレンマ” ゲーム 実施編 *実際にゲームを体験し、解決方法への考察を深めます。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】自分の“戦略”を見直してください。第1回で指定の映像(『ONE PIECE』(アニメ))イーストブルー編31話~40話を予習してみてください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。	第11回	【授】 今までの授業で関心をもつたことを、みなさんも調査してみましょう。仮説の立て方を名探偵コナンを用いて学びます。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】指定された回の名探偵コナンを復習してください。最終レポートを執筆し始めてください。インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。
第4回	【授】 『ONE PIECE』で解き明かす“社会的ジレンマ” 解決編 *先週のゲームの体験をもとに、解決方法の現実社会への応用を考察します。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】『考える社会学』第八章を読んでください。インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。	第12回	【授】 アンケート用紙を作成しながら、調査方法について学びます。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】最終レポートを執筆してください。インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。
第5回	【授】 社会的ジレンマ編まとめ 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】現実社会における社会的ジレンマについて考察してください。今までの文献・資料を復習してください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。	第13回	【授】 クロス集計分析の方法を学びます(*映像による自宅での自習とレポート提出)。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】最終レポートを執筆してください。インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。
第6回	【授】 ブレーンストーミングの仕方とノートの取り方 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】世界思想社編集部の『大学生 学びのハンドブック』を読んでください。インターネットによる振り返りアンケートに回答してください。	第14回	【授】 最終レポートについてのグループワーク(2): 各自分が執筆してきた最終レポートを題材に、グループワークを行います。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答してください。最終レポートを改良してください。
第7回	【授】 「なぜ人はささいなことで傷つくのか」傾聴編 実演を踏まえ“傾聴の仕方”を学びます。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】第8回までに住野よるの『君の隣隣をたべたい』を読んでください(映画に変更するかもしれません)。『子犬に語る社会学』第一・四・五章を読んでください。インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。	第15回	【授】 まとめ 全体を振り返ってみましょう。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】インターネットにて振り返りアンケートに回答してください。最終レポートを仕上げてください。
第8回	【授】 「なぜ人はささいなことで傷つくのか」ラベリング編 私たちの日常生活から考えます。住野よるの『君の隣隣をたべたい』を題材にします。 【前・後】【必要な時間: 4.5 時間】住野よるの『君の隣隣をたべたい』を読んでください(映画に変更するかもしれません)。インターネットによる振り返りのアンケートに回答してください。	第16回	

成績評価方法

グループワークまたは個人ワーク(35%)：自分の頭(知識理解・思考判断)と他人の頭とともに活用することを学びます(協調指導力・発表表現・関心意欲)。グループで相談しますがレポートは個人で執筆します(その他: オリジナリティ)。最終レポート(65%)：オリジナリティ(その他)と論理的思考力(知識理解・思考判断)が問われます。授業内で他者からコメントを得られる機会を設けます(協調指導力・発表表現)。テーマ選びに関心意欲が関連します。

グループワークレポートは毎回、翌週に採点結果をお知らせし、全体のコメントを授業中に行います。最終レポートに関しては、事前に評価基準をお示しします。したがって上記の成績評価割合、自分のグループワークの合計点と成績から、自分のレポートが評価基準のどの程度のレベルに達したのか、わかりますが、さらに全体のコメントをポータルで送信すると共に、自分のレポートについてコメントが欲しい方には、個別に対応します。

教科書・参考書

参考文献: 必要な箇所を配布します。

世界思想社編集部 2018『大学生 学びのハンドブック』世界思想社
M・チケントミハイ [著] : 今村浩明訳 2000『楽しみの社会学』新思索社
見田宗介 1996『社会学入門一人間と社会の未来』岩波新書(1009) 序章
野村一夫 2005『子犬に語る社会学』洋泉社 第一章・第四章・第五章
小林淳一/木村邦博編著 1991『考える社会学』ミネルヴァ書房 第一章・第四章・第八章
住野よる 2015『君の隣隣をたべたい』双葉社
大谷信介 [ほか] 編著 2015『新・社会調査へのアプローチ : 論理と方法』ミネルヴァ書房

受講に当たっての留意事項

1. 公欠の場合、第16回目の授業において個人・ワーク・グループワークを行うことで、欠席した分の個人ワーク・グループワークを補うことが出来ます。
2. 授業中、私が説明しているときは、誰も話してはいけません。小声でもダメです。私が聞こえなくてもあなたの周りの人が迷惑です。個人ワーク・グループワークのときは、どんどん周りの人と話してください。友達の意外なアイディアを楽しみ、また友達を楽しませてあげてください。
3. 授業中に、関係のないことを行っている、盗用・剽窃を行うなどの不正・不法行為が認められた場合、直ちに以後の出席を禁止します。
4. 公欠の方は別途、補習を受けることができます。それにより欠席分のグループワークの評価を補うことができます。
5. 公欠の方は別途、補習を受けることができます。それにより欠席分のグループワークの評価を補うことができます。
6. 新型コロナウイルス感染拡大防止による授業開始遅延のため第13回の授業は自宅で映像資料による自習とレポート作成とします。

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディ スカッション、グループワー ク、発表 等）の実施
×		○
学習到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・異なった価値観をもった他者と関係性を築くことの大切さを理解できる（知識理解・協調指導力）。 ・抽象的なコンセプトを具体的な事象で説明できる（発表表現・思考判断・その他：オリジナリティ）。 ・現代社会の中での“新潟国際情報大学の”、そして“本学の学生である皆さん”、可能性について考え方抜く力を身に着けてください（関心意欲）。 		
JABEE		

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習